

防止隊だより 令和 8 年 5 月号

特集 1: トヨタ自動車社員が先生! 燃料電池教室
特集 2: 環境教育「岡崎の森林の今を知ろう」
事務局だより: 防止隊事務局職員の異動

特集 1: 「水素でミニカーを走らせよう! 燃料電池教室」を開催

ミライの車を走らせよう! 二酸化炭素を出さない燃料電池

令和 8 年 3 月 7 日(土)、福社会館 6 階ホールで第 2 回燃料電池教室を開催しました。
その内容は、燃料電池自動車「MIRAI」と同じ仕組みを採用した燃料電池を組み立てて、ミニカーを走らせるというもの。先生役はトヨタ自動車株式会社で、実際に燃料電池の仕事に携わっている若手社員のみなさんです。岡崎に住む小学校 3 年~6 年の子どもたちとその保護者のみなさんに加えて、防止隊の正会員と賛助会員の方々も参加され、とても賑やかな会になりました♪

二酸化炭素を出さない! 水素を使う燃料電池

教室の始まりは、燃料電池と水素についての座学から。MIRAI の動力となる燃料電池は、水素と酸素を合体させて、電気エネルギーと水を作る仕組みです。そのため地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を出しません。これこそ水素が、未来のエネルギーといわれる理由のひとつです。



子どもたちは地球温暖化とは何かをすでに知っていて、自分たちに身近なこととして真剣に聞いてくれました。

子どもたちの手でつくるミライの車

座学の後には、いよいよ燃料電池の組み立て作業です。

作業机ごとに先生役の社員さんたちがついて説明してくれます。机の上は、どの工程でどの道具を使い、何をするのかがわかりやすくなるようになっていきます。

先生たちはどの子も手際よくできるように、一手順ごとに丁寧に教えてくれました。質問があればその都度答えて、「じょうず、じょうず!」「その調子だよ」となごやかな雰囲気の中で作業をうながしていきます。



子どもたちはピンセットや六角レンチ、実際に現場で使うドライバーを駆使して、細やかな作業にチャレンジ。真剣な手つきで、燃料電池を組み立てていきます。保護者のみなさんは、その様子を写真や動画に残しています。

完成した燃料電池をミニカーに組み付け、直線のコースにセッティング。子どもたちは「おお～」「思ったより速い！」と楽しんでくれました。この子たちの中から、いずれトヨタの社員の人たちと車をつくる子が出てくるかもしれませんね♪



子どもも大人
も楽しんで♪



特集 2：額田の森林に学ぶ環境教育「岡崎の森林の今を知ろう」を開催

CO₂測定体験と見える化報告会 産官学民連携の成果

3月1日（日）、額田の「こもれびかん」で開催した第2回「岡崎の森林の今を知ろう」。このイベントは植林や間伐といった山の木の管理の大切さを知ってもらうことと、岡崎市内の森林を目で見て現状を知っていただくために企画しました。

木（植物）はCO₂を吸収して成長するのは周知のことです。人の手で造った人工林では、適正な密度にする間伐を行うことで木が元気になります。すると更にたくさんのCO₂を吸収してくれるので、地球温暖化対策になります。そこで私たち防止隊は、地元の力を活かして間伐を促進している額田木の駅プロジェクトを応援しています。昨年に引き続き、今回の講師も額田木の駅プロジェクト事務局長の唐澤晋平さんをお願いしました。

森林をつくり、木材を伐り出し、経済を回す

まずはこもれびかんにて、1時間の座学です。日本は国土の森林率が68%もある森林大国です。特に岡崎市額田地区における森林面積は86%にも及びます。それにもかかわらず、建築用の木材は国産の木をあまり使わず、価格の安い輸入木材が大半を占めます。そんなわけで、戦後の拡大造林事業で植えられたスギやヒノキなどがそろそろ伐り時にもかかわらず、放置されています。

森林の機能はCO₂を吸収するだけではありません。木や草があることで水源涵養、保水能力、土砂災害防止、水質浄化、土壌生成、土壌保全、木材生産、生物多様性の保全、レクリエーションなど多岐に渡ります。ところが人工林を放置すると保水能力の低下、水質浄化不全、土壌流失による土砂災害、木材品質低下などにつながるので、間伐など適切な管理が必要です。

伐り出された木材は品質によりA材、B材、C材に分けられます。A材はまっすぐな太い材で、柱や板材といった建築資材になります。通常取引価格は立米あたり10,000～16,000円、更に上質な物はもっと高い値が付きます。B材は小曲り材で、合板になったり、土木部門で使うものです。立米あたり6,000～8,000円で取引されています。C材は曲がりが強かったり細かったりするもので、チップにして製紙用やバイオマス発電所の燃料にしかならないものです。立米あたり3,000～4,000円で流通しています。

A材、B材はそれなりの価格で売れるので、良い材が取れば経済的に回ります。しかし現実的には適正に何十年も管理していないと、良い材は生まれません。額田木の駅プロジェクトは間伐の促進として、C材を山主さんから買い取り、市からの補助金をプラスして支払う仕組みです。その支払いは地域通貨「森の健康券」で行い、額田地域の発展にも寄与しています。

その後、チャーターしたバスに乗り、木の駅プロジェクトの間伐材集積場（土場）へ行き、C材の現状を見ました。一見すると直径が40センチ以上もある立派な木なのに、良く見ると一部が虫に食われていたり曲がっていたりする丸太を観察できました。その後は数年前に間伐した場所へ行き、間伐手遅れ林や切り捨て間伐された山、適切に管理された森林を見回りました。人の一生を超えて続く、森づくりの今を感じるひとときでした。



お知らせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール

イベント名	日程	内容	実施部会
再発見！ 環境フォトコンテスト 2026	9月30日(水)まで 募集中	岡崎市内の「緑」や「水辺」などの自然を題材とし、「将来に残したいところ」や今すぐ「改善したいところ」の写真作品を募集しています。優秀作品には、賞状とQ U Oカードを贈呈予定です。ぜひ奮ってご応募ください！（詳細は、右の岡崎市役所ウェブページをご覧ください）	自然委員会 
GREEN LIFE JAM	5月4日(月)	間伐材を利用したコースターづくりのワークショップを出展します。場所は桜城橋で10:00～15:00まで、参加費は無料です。賛助会員のアイシン技術会のみなさんと一緒に活動します。ボランティアも募集しておりますので、ご興味のある方は事務局へご連絡ください。	事務局

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を

お知らせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
5月14日(木)	19時～21時	ZOOM オンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
交通委員会	5月8日(金)	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	5月23日(土)	13時半より開催	りぶら活動コーナー
自然委員会	5月14日(木)	19時より開催	ZOOM オンライン開催

上記の各種会議では、それぞれの防止隊の関連イベントや運営に関する協議を行います。興味のある方・見学をご希望の方は、防止隊事務局へご連絡ください。各会の長にご紹介し、参加・見学ができるよう調整いたします。なお開催場所へじかに向かう際は、諸事情により、日付・時間・場所に変更がある場合もございますのでご承知おきください。

【事務局だより：岡崎市地球温暖化防止隊事務局職員の異動】

令和8年4月1日付けで事務局職員に異動がありましたので、ご案内申し上げます。

平岩、竹内が事務局から離れ、嘉田、富板が新たに加わり、杉浦ともどもお世話になります。

【嘉田】平岩の後任として異動してきました。地球温暖化に関する業務に携わるのは初めてとなります。皆様の1つ1つの活動は地球温暖化防止に寄与する活動と聞いておりますので、事務局としてしっかりと皆様と連携を図り、防止隊の活動を盛り上げたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

【富板】岡崎市地球温暖化防止隊の一員として活動に尽力できればと思います。市民の皆さまや事業者の皆さまとの活動を通して、岡崎市の環境の保全や地球温暖化の防止に努めたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【平岩】この度、人事異動により、事務局を離れることとなりました。在籍した2年間大変お世話になりました。皆様と参加したMMBでは、豊かな湿地を見て感動しました。防止隊の活動があったからこそ、守られている自然であると感じています。今後の皆様のご活躍を心より応援しております。

【竹内】人事異動により事務局を離れることとなりましたが、防止隊の皆様と共に活動ができたことを光栄に思います。皆様の情熱に触れ、私自身も環境分野への意識が大きく変わりました。今後も皆様の活動が実り多きものとなるよう応援しております。4年間ありがとうございました。

【事務局】本会に御意見、御希望、ご質問等ございましたら、お気軽に事務局にご連絡ください。



岡崎市地球温暖化防止隊事務局

【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】

TEL : 0564-23-6786 FAX : 0564-47-8710

Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2026年4月発行